

# [医]学部1年女子の 合格体験記

## 自己紹介

こんにちは、私は医学部保健学科看護学専攻の者です。宮城県出身です。一般入試で入学しました。

## 東北大を志望した時期とその理由

志望した時期： 高校1年から  
理由： 地元の国立大学だったから。

## 受験期の勉強方法

東北大学は2次試験の配点が高いので、2次試験対策の勉強を中心に行っていました。理科と数学は問題集の出来なかった問題に印を付けながら苦手な問題を何度も演習し、その問題集の問題は全て出来るようになるまで繰り返しました。このとき、実際の試験時間に合わせて時間制限を設けると良いと思います。（例えば、看護数学なら100分で大問4つなので、大問1つあたり25分で解く必要があり、入試問題集の1問は25分で解く）演習の後は、解き方を声に出して筋道立てた説明が出来るか確認すると、自分がどの段階でつまづいたのかが明確になるので、ぜひやってみてください。

## モチベーションの保ち方

理系科目は、問題集を「何種類やったか」よりも「何周やったか」が合格のカギになってくると思うので、とにかく一冊の問題集を何度も繰り返しやることをおすすめします。そして、何度も繰り返してボロボロになった問題集をぜひ試験会場に持って行ってあげてください。「こんなになるまでやってやったんだ」という自信が試験前の不安を和らげてくれると思います。

## 受験直前～当日

私は実家が宮城にあるので、前日もホテル等に泊まることは無く、普通に実家で勉強をしていました。前日の夕飯はカレーで、その上にチーズでひらがなの「う」を書いて、「うカレー」として願掛けをしました。

前期一般入試1日目、時計を忘れ、本当に大変でした。時間配分も感覚で行うしかないので、今まで何度も過去問を解いてきた記憶を頼りに解き進めました。まず一番大切なのは時計を忘れないこと！忘れても自分は何度も過去問で問題演習を積んでいるのだからなんとかなると思えるくらい問題を解いて試験に臨むことです。

## 大学に入学して…

### 【実家生の大学生活】

上にもある通り、私は宮城県出身の実家生です。大学生になると、サークルの後に夜ご飯を食べに行ったり、友達の家で夜遅くまでしゃべったり、楽しい反面、帰る時間が遅くなることも多くなります。東北大は一人暮らしの学生がほとんどなので、その生活に合わせて時間を気にせず遊んでいると、思いがけず両親に心配を掛けてしまうことも……。大学生になって自由に遊びたい気持ちも分かりますが、夜遅くなりそうな時は親御さんへのこまめな連絡を心掛けましょう。

### 【看護学専攻の特徴】

医学部保健学科看護学専攻は、他の学科と大学生活においても異なる部分が多いので、その特徴を紹介したいと思います。まず、勉強については、他の学部よりも早い段階から多くの専門科目があり、人体の仕組み・病気の成り立ちといった医学的なことはもちろん、患者さんと心を通わせるための心理学、看護師としてどうあるべきかを確立させるための看護理論など、非常に幅広い分野を学習します。3年生からは本格的に実習も始まり、より実践的な看護の技術を学びます。サークルも、川内を中心に活動する学友会よりも、星陵キャンパスで学ぶ学生で構成される医学部サークルに所属することが多く、忙しい医学部のスケジュールに合わせた活動ができます。

## 受験生へのメッセージ

受験で頑張った分だけ楽しい大学生活が待っています！  
最期まで諦めずに頑張ってください！

